

公益社団法人 私立大学情報教育協会  
サイバー・キャンパス・コンソーシアム  
平成24年度 第2回統計学グループ運営委員会 議事概要

I. 日時 平成24年8月8日(水) 10:00~12:30

場所 私立大学情報教育協会事務局

II. 出席者 中西、渡辺、各委員、今泉、高橋アドバイザー(事務局 井端、森下、平田)

### III. 検討事項

今回は、前回の統計学教員に期待される専門性に続いて、統計学の教育改善モデルを実現するための教育力、教育力を実現するためのFD活動、大学としての課題を中心に以下の通り検討した。

#### 1. 統計学の教育改善モデルを実現するための教育力について

事前に委員により作成された案をもとに、以下の通りまとめた。

##### (1) 教育改善モデル実現に求められる教育力

社会での統計活用例を題材とした豊富な教材や資料の提供、課題発見から問題解決に至る教育の実践、専門分野の教員と連携した教育の実践、それらをより効果的に実現するためのICT活用を重視し、以下を教育力としてまとめた。

#### 【2】教育改善モデル実現に求められる教育力

- ① 学部学科の教育目標と統計教育の位置づけを明確にし、カリキュラムに沿った授業を実施し、工夫・改善できること。
- ② 社会における様々な統計活用例の教材、資料等を多様なメディアで収集または作成し、学内外で共有することができること。
- ③ 課題発見、仮説設定、調査分析、仮説の検証、問題解決に至る一連のプロジェクト型学習が指導でき、その過程を通じて主体性、創造性を身につけさせられること。
- ④ 社会に通用できる授業を展開するために、対等の立場で専門分野の教員と役割を分担し、到達目標を提示することができること。
- ⑤ ICTを用いて学修成果を社会に発信し、評価やコメントを通じて、さらなる授業の改善ができること。

#### (2) 教育力を実現するためのFD活動と大学としての課題

(1)で掲げた教育力の実現には、授業の点検評価、シラバス・到達目標の評価指標の点検評価、プロジェクト学習の実施、他分野や専門家との連携、豊富な教材の提供が重要で、また、有効なICT活用も必要となるため、FD活動と大学としての課題については以下のようにまとめた。

#### 【3】教育力を実現するためのFD活動と大学としての課題

##### (1) FD活動

- ① 他の専門分野の科目と統計教育のカリキュラム上の位置づけを共有し、授業内容の点検・評価の確認を組織的かつ定期的に行う必要がある。
- ② シラバスや到達目標の評価指標を教員相互で主体的に点検・評価する仕組みを設ける必要がある。

- ③ 課題発見・問題解決型を基本とするプロジェクト型学習などの教育方法を持ち回りで発表し、指導法の改善や向上を図る研究会を開催する必要がある。
- ④ 他分野の教員や社会の専門家などと定期的に意見交換を行い、到達度水準の検証と教育プログラムの改善に反映させる必要がある。

(2) 大学としての課題

- ① 大学として教員の教育活動を把握し、教育改善のインセンティブを高めるための支援およびFD活動を積極的に取り組む必要がある。
- ② FDの基盤環境として、授業の公開を原則とし、授業内容、教材コンテンツ、資料などをアーカイブする必要がある。
- ③ ICTを活用した教育方法を支援する組織と環境を大学として整備する必要がある。
- ④ 他分野の教員や社会の専門家などから協力を得るために、連携の呼びかけ、制度の整備および財政的な支援を行う必要がある。

## 2. 次回委員会

今回は、9月8日(土)10:00より開催し、学士力の解説とモデルに挿入する図表について検討することを確認した。